												s のゴ-	ール・	ター	ゲッ	ゲットのマッピング			
カナーゴロー	チェ ック 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項			—— 期待 経	侍レベ ル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)		2 3		5	6 7					13 14		16 17 ***
	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	(0 (O ±	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別審査などを行わない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2			1	.6.1 .6.2 .6.7
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	(0 (O ±		・就業規則 第23条によりハラスメント行為の禁止を明記している ・入社時に入社の栞を用いて教育を実施し、また職場におけるハラスメントに関する相談窓 口の設置している				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					1	.6.1
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない		(O ±	基本	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、 労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている ・産業医による定期的な面談の実施						8.5 8.8						
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	(0 (O 4	基本	・外国人技能実習制度技能実習生、派遣形態、正規社員等の外国人労働者への適切な処遇や 労働環境の整備を行っている			4.4			8.7 8.8		10.2 10.3				
-	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	(0 (O 4		安全衛生管理要項を策定し、社員の安全衛生を確保している ・月次での安全衛生委員会、K Y 活動(危険予知)の実施 ・定期的な安全パトロールの実施、教育、情報提供の実施		3				8						
人権・ 労働	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	(0	11/2	基本	・メンタルヘルスに関する方針と計画の策定 ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修の実施 ・定期的なストレスチェック実施 ・産業カウンセラーによる面談実施		3										
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	(0 (○ ≛	基本	・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・多様な人材の活躍状況をHP等で積極的に発信している				5.1 5.5		8.5		10.2				
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	(0 (O 16	応用	非該当		3				8						
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	(0 (О Б		社員教育要領を策定し、職務や役割に応じた研修体系の整備と実施 ・全社員教育推進表に基づいた教育実施 ・外部機関を利用した教育の実施 ・社内教育の定期的な計画と実施			4			8	9					
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	(0 (О Б	京田 1	・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、原則に沿った体制の整 備・対応を行っている						8.5		10.2 10.3				
	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	0	(O 4	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している ・環境目標設定表を策定し、環境委員会で活動推進している								11	12.3 1.6 12.4 12.5	14.1		
環境	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	0		ŧ	基本	・省エネ診断、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し推進している					7.3	3				13		
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	0	(0 4	基本	・算定ツールなどを利用してCO2排出量を把握し、削減活動を推進している ・環境目標設定表を策定し、環境委員会で取組みを推進している					7.2 7.3				12.4	13.3		

									S	DG	s Ø	ゴール	・ター	-ゲットの マ	フッヒ	゚゚ング	•	
	チェ	-		3側面該当				1 2	3 4	4 5	6	7 8	9	10 11 12	13	14	15 16	17
カテゴリ	ック 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	環境	社会	経	期待レベ ル	具体的な取組(県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	2 001	8 mm 4 22 -40/4	1 ac'	6 33400	8 mic	B SELVERATE	11 sabeth	18 1855.	14 htt ⁿⁱ	15 to	17 ************************************
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	0	0	0	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握し、使用量や使用制限を適切に管理している ・必要に応じてメーカーからのエビデンスを取得し、定期的管理を行っている		3.9		6.3			11.6 12.	4			
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	0			基本	・環境や生態系に悪影響を及ぼさないように廃棄物は適切に分別し、管理を徹底している。				6.6						15	
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	0			応用	・適応法令に準拠した管理を実施し、利用状況を把握し効率改善に努めている				6.4 6.6							
環境	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	0	0	0	応用	・ISO14001認証を取得し、環境マネジメントシステムの運用によって環境に悪影響を及ぼさないように取り組んでいる		3.9		6	7		12	13.3	3 14	15	
28.36	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			0	応用	・環境情報は委員会等で社内へ通達している							12.	6			
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	0			応用	非該当					7.2			13			
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	0	(0	応用	・非合法材を使用していないことの確認を行っている							12.	2 13	14	15	
	21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	0		0	応用	・排出される廃棄物の分別仕分けによる廃棄物の低減、リサイクル可能な金属やプラスチック、段ポールなどの再生資源、エネルギー資源の回収などを推進している				6.3			11.6 12 12.		14	15	
	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		0		基本	・社員教育資料、HP等のCSR項目において贈賄の禁止及び贈答・接待等を記載し、社員教育および宣言を実施している										16 16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		0		基本	・社員教育資料、HP等のCSR項目において独占禁止法及び関連諸法の遵守を記載し、社員 教育および宣言を実施している										16	i
公正な	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			0	基本	・社員教育資料、HP等のCSR項目において知的財産権諸法の遵守を記載し、社員教育および宣言を実施している ・社外弁護士、弁理士による特許、商標等知的財産権の取得・管理を実施している					8.2 8.3	9					
事業慣行	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		0		基本	・個人情報保護に関する基本方針(プライバシー・ポリシー)を定め、従業員に対し、個人情報保護の重要性を認識させるため、個人情報の保護および適正な管理方法について教育し適正な取扱いを徹底している										16	i
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		0		応用	・自社で取り扱う製品の原材料サプライチェーンを把握している										16	i
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	0	0	0	応用	・新規取引開始の時に展開する資料に、生物多様性や生態系への悪影響の防止する取組を依頼する資料も添付を検討予定			5		8		10 12	13	14	15 16	17
製品・	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		0	0	基本	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している		3.9					12.	4			
サービス	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			0	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールの策定を実施している ・ISO9001を取得し、品質マネジメントシステムを構築している						9					

											S D (G s c	カゴ-	ール・	ター	-ゲット	・のマ	ッピ	ング		
	チェ		31	則面認	亥当			1	2	3	4	5 6	7	8	9	10 11	12	13	14	15 16	17
カテゴリ	, エ ック 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	環境	社会		期待レベル	レベ 具体的な取組 レ (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	ton total	<u> </u>	S RETREE	5::	7	7 🐞	8 11111	9 11/2/20	10 sater 11 sate	00 2000	18 ************************************	14 555*** 15	5 total 18 Meth	17 3500
製品・サービ	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	0		0	応用	・ISO14001を取得し、環境マネジメントシステムの中で製品設計時におけるライフサイクル 視点での環境影響を把握している					6	i				12	13	14	15	
ス	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	0	0	0	応用	・プラスチックの再生原料を活用した商品の調達を実施している	1	2	3	4	5 6	7	8	9	10 11	1 12	13	14	15 16	17
	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	0	0	0	基本	・ I SO14001認証を取得し、環境マネジメントシステムの運用によって地域への影響の把握 (騒音、振動測定) を実施している ・自社のCO2排出量を測定し削減に向けた活動を推進している				4				9	11	1 12		14	15	17
社会貢献・地 域貢献	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	0	0	0	応用	・工業団地の清掃活動を実施している ・大学生向けのインターンシップ、地域の小中学校の社会科見学等の受け入れを実施している				4					11	L		14	15	17
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	0		0	応用	非該当							8	9	11	12	13			
	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		0		基本	・就業規則や社内教育に法令遵守の考えを掲げ研修を実施している。 ・社内報や掲示板、月礼等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信 している。													16	
	36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている			0	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている							8	9						17
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		0		応用	・法令順守(コンプライアンス)の方針、手順などの体制が整備されている ・内部通報制度(匿名性の保障や社外直通窓口など)が整備されている													16	
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		0		応用	・環境方針を掲げ、責任者(担当役員)を任命している ・CSRを掲げ、ホームページや社内教育資料で方針を伝達している													16	
組織体制		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		0		応用	・リスクアセスメント等を活用してリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を 講じている													16	
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を 進めている		0		応用	・CSR方針の策定、ホームページや社内教育資料で方針を伝達している													16	
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		0	0	応用	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握している。													16	17
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	0	0	0	応用	・事業継続計画(BCP)の策定予定している ・インフラを含めた整備、定期的な訓練の実施を推進								9	11	L	13 13.1		16	
	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			0	応用	・教育、トレーニングを継続的に行い、社員が業務を行える範囲を広げ、誰かが欠けても業 務が滞りなく行えるような体制を構築している							8	9						17

			SDGsのゴール・ターゲットのマッピング
カテ チェ ック 番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当 期待レベ 具体的な取組 境 会 済 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 6	7	8	9	10 11	12	13 14	15	16 17
1															
2															
3															
4															

【記載留意事項】

- ・SDGsのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的(結果として)に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。(SDGsのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDGsのゴール(例:7)を表し、小数点を含む数字はターゲット(例:7.3)を表しています。)
- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むも のについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。(※えるぼし認定、森林認証制度 など)